

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

【「言葉」を問う問題】

- 1 次の漢字の中から、似た意味をもつ漢字を組み合わせて、二字の熟語をつくりましよう。

言 助 心 動 救

--	--

レベル 8

画 数 本 絵 動

--	--

レベル 9

- 2 次の文の―線部に対する主語を書きぬきましょう。

(1) 姉にたのまれて、私は日曜日に飼っている犬とネコにえさをあげた。

--

(2) とても人気のあるレストランが、わたしの住む町に建設された。

--

- 3 次のア～エの文の中から、慣用句「羽をのばす」の使い方が正しいものを一つ選びましょう。

レベル 8

ア 習い事がない日に、友達と公園で思いきり遊んで、羽をのばした。
イ 友達とケンカしたが、次の日にはもう羽をのばして仲良く遊んだ。
ウ 重い荷物を運んでいる友達に、羽をのばした。
エ 卒業式での合唱は、多くの人の羽をのばした。

--

- 4 次の文の―線部がくわしくしている言葉としてあてはまるものを、ア～オの中から一つ選びましょう。

レベル7

- （1）明日の小学校の運動会は、雨予報のため延期えんきになった。

ア 小学校の
イ 運動会は
ウ 雨予報のため
エ 延期に
オ なった

- （2）白い飛行機雲が、長くまっすぐに空にのびている。

ア 白い
イ 飛行機雲が
ウ 長く
エ 空に
オ のびている

- 5 次の□の中の文の―線部を、―線部の敬語けいごと同じ使い方の敬語に直しましょう。

レベル8

- （1）校長先生がいすにおすわりになる。

警察けいさつのかたが、安全な自転車の乗り方について話す。

- （2）来週、校長先生が私に賞状をくださる予定です。

先生が言々とおり、火のあつかいにはとても気をつけなければなりません。

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

1

松山さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることにしました。電車の運転士に興味のある松山さんたちは、電車の運転士の森さんにインタビューをすることにしました。次の【インタビューの様子の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【インタビューの様子の一部】

松山さん

わたしたちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、森さんの仕事と意思についてうかがいます。どうぞよろしくお願いします。

森さん

こちらこそ、よろしくお願いします。

松山さん

はじめに、電車の運転士として、森さんが大切にしていることを教えてください。

森さん

電車は多くの人の生活を支えていますので、何よりも安全に、安心して乗っていただくことを大切にしています。

松山さん

安全や安心はとても大切ですね。①安全に運行するために、どのようなことを心がけているのですか。

森さん

電車は時こくどおりに運行することが求められますが、急いでしまうと、思わぬ事故につながる可能性があります。ですから、確にんを一つ一つていねいに行い、落ち着いて運転するようにしています。また、電車の安全を守っているのは、運転士だけではありません。

松山さん

そうなんですか。運転士のほかに、どのような人が関わっているのですか。

森さん

運転士はもちろん、車両を点検・整備する人や、運行の状況ようを確にんして指示を出す人など、多くの人が協力して安全な運行を支えています。

松山さん

②なるほど。たくさんの方が力を合わせて、乗客の安全を守ってくださっているんですね。わたしたちは電車は時間どおりに走ることが一番大切だと思っていました。それ以上に、安全を第一に考えて仕事をしていることが分かりました。

（インタビューが続く）

※本文は令和七年度 全国学力・学習状況調査 国語

大問1の3を参考に作成 問題は埼玉県独自のものです

（1）【インタビューの様子の一部】の松山さんが ー線部①のように発言したよさとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びましょう。

レベル7

ア 自分の意見を強く伝えているところ

イ 話題を変えて、新しい内容を聞いているところ

ウ 相手の話を受けて、話を詳しく聞こうとしているところ

エ 質問を短くして、答えやすくしているところ

☐

（2）【インタビューの様子の一部】の松山さんが ー線部②のように発言した理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選びましょう。

レベル7

ア 相手の答えは自分たちが最初に考えていた内容と同じであることが分かったから。

イ 相手の話を聞いて、これからさらに質問したいことが新しく見つかったから。

ウ 相手の話に共感した部分を取り上げて、話題を広げようと考えたから。

エ 相手の答えと自分たちの考えを比べることで、考えを深めることができたから。

☐

（3）あなたが、松山さんだったら、電車の運転士の森さんにインタビューでどのような質問をしますか。働くことについて考えるための質問を、実際に話すように書きましょう。

レベル9

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第六学年 国語



組	番号	名前

【「読むこと」を問う問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

ある古い家の、まっくらな天井裏に、「ツエ」という名まえのねずみがすんでいました。
ある日ツエねずみは、きよろきよろ四方を見まわしながら、床下街道を歩いていきますと、
向こうからいたちが、何かいいものをたくさんもって、風のように走って参りました。そ
してツエねずみを見て、ちよつとたちどまって早口に言いました。

「おい、ツエねずみ。お前んとこの戸棚の穴からこんぺいとうがばらばらこぼれているぜ。
早く行ってひろいな。」

ツエねずみは、もうひげもびくびくするくらいよろこんで、いたちにはお礼も言わずに、
いっさんにそっちへ走って行きました。ところが戸棚の下まで来たとき、いきなり足がチ
クリとしました。そして、

「止まれ、だれかつ。」

と言う小さなすうどい声がします。

ツエねずみはびっくりしてよく見ますと、それはありでした。ありの兵隊は、もうこんぺ
いとうのまわりに四重の非常線を張って、みんな黒いまさをふりかざしています。

二、三十ぴきはこんぺいとうを片っぱしから砕いたり、とかしたりして、巢へはこぶしたく
です。ツエねずみはぶるぶるふるえてしまいました。

「ここから内へはいつてならん。早く帰れ。帰れ、帰れ。」

ありの特務曹長が、低い太い声で言いました。

ねずみはくるつと一つまわって、いちもくさんに天井裏へかけあがりました。そして巢
の中へはいつて、しばらくねころんでいましたが、どうもおもしろくなくて、おもしろく
なくて、たまりません。ありはまあ兵隊だし、強いからしかたもないが、あのおとなしい
ために教えられて、戸棚の下まで走って行ってありの曹長に注1けんつくを食うとは、な
んたるしやくにさわることだとツエねずみは考えました。そこでねずみは巢からまたちよ

ろちよろはい出して、木小屋の奥のいたちの家にやって参りました。

いたちはちようど、とうもろこしのつぶを、歯でこつこつかんで粉にしましたが、ツエねずみを見て言いました。

「どうだ。こんぺいとうがなかったかい。」

「いたちさん。ずいぶんお前もひどい人だね。私わたしのような弱いものをだますなんて。」

「だましやせん。たしかにあったのや。」

「あるにはあつても、もうありが来てましたよ。」

「ありが、へい。そうかい。早いやつらだね。」

「みんなありがとつてしまいましたよ。私のような弱いものをだますなんて、注2償まだうてくまじださい。償うてくまじださい。」

「それはしかたない。お前の行きようが少しおそかったのや。」

「知らん、知らん。私のような弱いものをだまして。償うてくまじださい。償うてくまじださい。」

「困ったやつだな。ひとの親切をさかさまにうらむとは。よしよし。そんならおれのこんぺいとうをやろう。」

「償うてくまじださい。償うてくまじださい。」

「えい、それ。持つて行け。てめえの持てるだけ持つてうせちまえ。てめえみたいな、ぐにやぐにやした男らしくもねえやつは、つらも見たくねえ。早く持てるだけ持つてどっかへうせろ。」

いたちはプリプリして、こんぺいとうを投げ出しました。ツエねずみはそれを持てるだけたくさんひろつて、おじぎをしました。いたちはいよいよおこつてさげびました。

「えい、早く行ってしまえ。てめえの取った、のこりなんかうじむしにでもくれてやらあ。」

ツエねずみは、いちもくさんに走つて、天井裏の巢てんじょううらへもどつて、こんぺいとうをコチコチ食べました。

こんなぐあいですから、ツエねずみはだんだんきらわれて、注3たれもあんまり相手にしなくなりました。

（宮沢賢治「ツエねずみ」より）

※一部常用外漢字をひらがなにしています。

（注1）けんつくを食う…とげとげしい言葉で断られること

（注2）償まだうてくまじださい…つぐなつて、うめあわせをしてください

（注3）たれも …「だれも」と同じ。

(1) ① いたちが見つけた「何かいいもの」とは何ですか。文章中から六字で書きぬきましょう。

レベル 9

--	--	--	--	--	--	--

(2) 「② おもしろくなくて」とありますが、ツエねずみはなぜ、「おもしろくない」と考えたのですか。最もふさわしいものを次のア～エの中から、一つ選びましょう。

レベル 6

ア いたちが、こんぺいとうを全部食べてしまったことにがっかりしたから。

イ ありの曹長そうちやうが、自分よりえらそうに話したことに、はらを立てたから。

ウ いたちが、こんぺいとうが手に入るといいうそをついたのではないかと、はらを立てたから。

エ ありの曹長が、いそがしそうで話を聞いてくれなかったことにがっかりしたから。

--

(3) ツエねずみは、自分のことをどのように思っているでしょうか。文章中から七字で書きぬきましょう。

レベル 8

--	--	--	--	--	--	--

もの

(4) この文章の持ちようとして、最もふさわしいものは次のうちどれですか。次のア～エから一つ選びましょう。

レベル 8

ア この文章は、ツエねずみの心情が、主に自然やまわりの情景を通して表されており、言葉や行動からは心情を読み取ることができない。

イ この文章は、一方的な思い込みやしつこい言い方によって、ツエねずみがだんだんとみんなからきらわれていった理由が分かるようにかかれています。

ウ この文章は、ツエねずみをだまそうと思っていたいたちが、最後までツエねずみのことをばかにし続けている様子が分かるようにかかれています。

エ この文章は、ツエねずみに誰もが共感しながら読むことができ、このねずみが最後までかわいそうだという感想をもつことができるようにかかれています。

--